第５章　将来ビジョンの実現に向けて

■　行政機関等と民間が連携した地域課題への取組

安心・安全な社会環境の整備や活力ある地域社会を形成し，地域で抱える様々な課題を適切に解決し実現するためには，行政や民間団体等と連携・協力して取組むことが重要です。このため，北薩地域振興局は，県政の総合拠点として，その機能を十分に発揮して，危機事象に対する一元的な対応をはじめ，地域の特性や住民ニーズに即した総合的かつ高度な行政を迅速に進めていくことが重要となっています。

また，県政情報の積極的な広聴・広報活動を通じて，分かりやすい県政情報の提供に努め，地域住民の理解と信頼の下に，地域住民の県政への参画を促すとともに，透明性の高い開かれた県政運営を推進していきます。

さらに，広域的連携が必要な場合は，県域を越えて協力し，共通の地域課題に取り組んでいきます。

■　共生・協働と男女共同参画等の推進

安全で快適な地域づくりにあたっては，行政だけではなく自治会などの地域コミュニティやボランティア，ＮＰＯ，企業といった多様な主体が，相互に連携・協力して地域の課題解決に取組む「共生・協働の地域社会づくり」を推進していくことが重要です。

また，男女共同参画においては，根底をなす最も基本的な「男女の人権の尊重」の理念が地域住民一人ひとりの意識に深く浸透し，あらゆる場で実践される地域環境が形成されるよう地域一体となって実践していくことが必要であり，併せて，次代を担う若者等が社会を構成する一員として責任と誇りを持って地域を支えていくことが必要であり，人材の育成や指導，活動するための場や機会の確保等が大切です。

■　北の玄関口としての広域交通ネットワークの形成に向けた取組

地域産業の発展や住民の生活を支える広域交通ネットワークの形成を図るため，現在，進められている九州新幹線や南九州西回り自動車道，北薩横断道路，川内港などの整備推進やこれらの高速交通体系等と北薩地域内の各地域とをつなぐ交通ネットワークの整備を図るため，それぞれの分野における施策や事業が適切に推進されていくよう，地域一体となって取り組んでいくことが必要です。

また，九州西岸軸の中核となる島原・天草・長島架橋構想など，地域が発展する様々な可能性があることから，行政・民間が一体となって将来に向かって果敢に挑戦することにより更なる発展が期待されます。

■　歴史・文化の保存・承継と地域の振興

先端技術産業や地域資源を生かした様々な産業が展開し，地域の発展や住民の生活を支えていくものと考えられます。

一方で，豊かな自然や歴史，伝統，文化が，共通の財産として保存・承継されており，郷土への愛着や誇りを培うことにより次代に向かって活力ある文化が形成されていくことが必要です。こうした地域特性を生かしながら暮らしやすい社会環境を形成し，地域の振興を図っていくことが重要です。

北薩地域将来ビジョン
～ 輝ける北薩の未来，みんなで挑戦 ～

発行日　　　平成22年3月

編集・発行　鹿児島県北薩地域振興局
〒895-8501 薩摩川内市神田町１－２２
総務企画部総務企画課
TEL 0996-23-5151（代表）
ホームページアドレス：鹿児島県ホームページ　http://www.pref.kagoshima.jp/ →「地域振興局・支庁情報」→「北薩地域振興局」

鹿児島県